

若林地区タウンミーティング 意見交換概要

日 時 平成 28 年 7 月 21 日 (木)
場 所 若林公民館
出席者 26 名 (男 23 名、女 3 名)

市政一般に対する意見交換

【住宅に関する助成制度について】

(市民) 砺波は住宅や住宅団地が増えている。子どもを増やすとか、アウトレットで人を集めるといった話も大事だと思うが、住宅を増やすことが重要だと思う。助成制度は何かあるのか？

(市長) 市営住宅や市営団地を整備すればよいという話もあるが、民間事業者を圧迫することとなる。市では民間企業の力を伸ばす施策をしている。市外から転入し、家を取得した場合の住宅取得助成制度がある。また、賃貸住宅家賃助成もあり、効果は非常に高いと考えている。

【上下水道の整備について】

(市民) 若林地区での上下水道整備計画を教えてほしい。下水道整備は、上水道整備との絡みはあるか？

(市長) 下水道整備については見直しを行っている。下水道整備と上水道整備は、基本的に別々だが公共下水道に併せ、上下水道一体で整備することとなる。両方の整備を 1 日でも早くするための検討をしている。

【アウトレットとイベントについて】

(市民) アウトレットに他力本願なところがある。商工会などでイベント等を考えるなどしてリピーターを増やさないと、この先数年が心配だ。

(市長) アウトレットを誘致した一番の目的は、商業の振興。アウトレットの周辺ばかりが賑やかだという声をよく聞く。アウトレット来場者の 1 % を市内に呼び込むことを目標にしているがハードルは高い。倶利伽羅トンネルの新規事業着手、東海北陸自動車道の四車線化など道路事情が良くなると、間違いなく地理的優位性を発揮できるので、企業誘致もスムーズにいくことになる。イベント等については、実行委員会を行政が下支えしていくというスタンスだ。

【砺波小矢部線の改良について】

(市民) 砺波小矢部線の改良はどうなっているのか？

(市長) 若林地区で期成同盟会が発足し、県も前向きに取り組んでいる。県単事業で、

西中地内の 300m くらいを測量したところだ。現在、交付金事業で野寺の交差点を重点的に行っているが、野寺が終われば若林地区に入る。予算確保に努めたい。